

(参考)

**2023年3月期 第3四半期連結決算概要**2023年2月3日  
三井化学株式会社

## 1. 損益状況

(単位：億円)

	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減	2022年 3月期実績	2023年3月期業績予想 (2/3発表値)	
					通期	増減
売上収益	11,651	14,289	2,638	16,127	19,100	2,973
コア営業利益	1,343	1,103	△240	1,618	1,300	△318
営業利益	1,386	1,070	△316	1,473	1,470	△3
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,027	649	△378	1,100	950	△150
為替レート(円/US\$)	111	137	26	112	135	23
国産ナフサ価格(円/KL)	54,000	80,000	26,000	56,600	77,000	20,400

※前期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期の要約四半期連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額に遡及修正しております。

## 2. セグメント別売上収益・コア営業利益

## ・売上収益

(単位：億円)

	2022年 3月期 第3四半期	2023年 3月期 第3四半期	増減			2022年 3月期実績	2023年3月期業績予想 (2/3発表値)	
			計	数量差	価格差		通期	増減
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	1,589	1,868	279	142	137	2,252	2,600	348
モビリティ ソリューション	3,114	3,908	794	100	694	4,327	5,300	973
I C T ソリューション	1,553	1,796	243	△119	362	2,071	2,250	179
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	5,316	6,605	1,289	△203	1,492	7,371	8,800	1,429
その他	79	112	33	—	33	106	150	44
合計	11,651	14,289	2,638	△80	2,718	16,127	19,100	2,973

## ・コア営業利益

(単位：億円)

	2022年 3月期 第3四半期	2023年 3月期 第3四半期	増減				2022年 3月期実績	2023年3月期業績予想 (2/3発表値)	
			計	数量差	交易条件	固定費他		通期	増減
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	183	216	33	45	41	△53	249	305	56
モビリティ ソリューション	240	389	149	18	216	△85	332	510	178
I C T ソリューション	252	230	△22	△58	67	△31	302	270	△32
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	675	298	△377	△118	△125	△134	778	275	△503
そ の 他	2	△20	△22	—	—	△22	△4	△20	△16
全社費用等	△9	△10	△1	—	—	△1	△39	△40	△1
合 計	1,343	1,103	△240	△113	199	△326	1,618	1,300	△318

## ※セグメント区分方法の変更

当社は、長期経営計画「VISION2030」の実現に向け、事業ポートフォリオの改定及び、それに伴う報告セグメントの見直しを行っております。詳細は「2. (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」及び、2021年11月25日リリースの「2022年4月全社組織改正について（注）」をご参照ください。

(注) <https://jp.mitsuichemicals.com/sites/default/files/media/document/2021/211125.pdf>

なお、2022年3月期のセグメントにつきましても、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 3. 財政状態計算書

(単位：億円)

	資産の部				負債及び資本の部		
	2022/3末	2022/12末	増減		2022/3末	2022/12末	増減
流動資産	10,335	11,323	988	有利子負債	7,151	8,110	959
有形固定資産 及び使用権資産	5,536	5,935	399	その他負債	4,128	4,119	△9
のれん及び 無形資産	633	663	30	親会社の所有者に 帰属する持分	7,127	7,657	530
非流動の その他の資産	2,846	2,936	90	非支配持分	944	971	27
資産計	19,350	20,857	1,507	負債資本計	19,350	20,857	1,507

(NET D/Eレシオ) (0.75) (0.80) (0.05)

## 4. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減	2022年 3月期実績	2023年3月期業績予想 (2/3発表値)	
					通期	増減
営業キャッシュ・フロー	543	441	△102	926	900	△26
投資キャッシュ・フロー	△1,040	△673	367	△2,052	△645	1,407
(フリーキャッシュ・フロー)	(△497)	(△232)	265	(△1,126)	(255)	(1,381)
財務キャッシュ・フロー	631	290	△341	892	△140	△1,032
その他	24	64	40	86	65	△21
現金及び現金同等物増減	158	122	△36	△148	180	328
現金及び現金同等物残高	2,118	1,934	△184	1,812		



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 三井化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4183 URL <https://jp.mitsuichemicals.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 修  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 井上 純一 TEL 03-6253-2100  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	1,428,911	22.6	110,349	△17.8	107,018	△22.8	71,637	△34.9	64,946	△36.7	91,160	△27.2
2022年3月期第3四半期	1,165,079	35.9	134,260	157.3	138,624	167.0	110,115	197.3	102,665	211.1	125,158	156.9

(参考) 税引前四半期利益 2023年3月期第3四半期 100,187百万円 2022年3月期第3四半期 132,177百万円  
 コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益（非経常項目）を除いて算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	336.43	-
2022年3月期第3四半期	526.64	-

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,085,706	862,790	765,711	36.7
2022年3月期	1,934,965	807,122	712,654	36.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	55.00	-	65.00	120.00
2023年3月期	-	60.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2022年3月期の期末配当の内訳は普通配当が60円、記念配当が5円です。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,910,000	18.4	130,000	△19.7	147,000	△0.2	104,000	△12.3	95,000	△13.6	492.96

(参考) 税引前利益 通期141,000百万円

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	200,763,815株	2022年3月期	204,653,315株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	9,041,596株	2022年3月期	11,417,375株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	193,044,998株	2022年3月期3Q	194,943,251株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

前期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期の要約四半期連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額に遡及修正しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(セグメント情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

**(全般的状況)**

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日の9ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響緩和に伴う経済社会活動の正常化により、景気持ち直しの動きが継続しましたが、ウクライナ情勢等に起因する、欧州を中心とした原燃料価格高騰による景気の下振れや、中国におけるゼロコロナ政策転換に伴う感染急拡大の影響が懸念されております。日本経済においても、経済社会活動の正常化が進み、景気持ち直しの動きが継続したものの、一方で、原燃料価格の高止まりや物価上昇に伴う景気の下振れが懸念されております。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

なお、当社は経営指標の一つとしてコア営業利益を採用しております。コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

また、当社は前期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期の要約四半期連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額に遡及修正しております。

(単位：億円)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	親会社の所有者に帰属する四半期利益
当四半期	14,289	1,103	1,070	649
前年同四半期	11,651	1,343	1,386	1,027
増減額	2,638	△240	△316	△378
増減率(%)	22.6	△17.8	△22.8	△36.7

**売上収益**は、前年同四半期に比べ2,638億円増(22.6%増)の1兆4,289億円となりました。これは、ナフサなどの原燃料価格の上昇に伴う販売価格上昇などによるものです。

**コア営業利益**は、前年同四半期に比べ240億円減(17.8%減)の1,103億円となりました。これは、ビスフェノールA等の海外市況の下落等や、固定費他の増加があったことなどによるものです。

**営業利益**は、コア営業利益の減少に伴い、前年同四半期に比べ316億円減(22.8%減)の1,070億円となりました。

**金融収益・費用**は、前年同四半期に比べ4億円悪化の68億円の損失となりました。

以上により、**税引前四半期利益**は、前年同四半期に比べ320億円減(24.2%減)の1,002億円となりました。

**親会社の所有者に帰属する四半期利益**は、前年同四半期に比べ378億円減(36.7%減)の649億円となり、基本的1株当たり四半期利益は336.43円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

なお、当社は長期経営計画「VISION2030」の実現に向け、事業ポートフォリオの改定及び、それに伴う報告セグメントの見直しを行っております。詳細は「2. (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」及び、2021年11月25日リリースの「2022年4月全社組織改正について(注)」をご参照ください。

(注) <https://jp.mitsuichemicals.com/sites/default/files/media/document/2021/211125.pdf>

また、前年同四半期のセグメントにつきましても、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

**(ライフ&ヘルスケア・ソリューション)**

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ279億円増の1,868億円、売上収益全体に占める割合は13%となりました。また、コア営業利益は、主に農業化学品の販売が堅調に推移したことにより、前年同四半期に比べ33億円増の216億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

**ビジョンケア材料**のメガネレンズ用材料は、販売が堅調に推移しました。

**オーラルケア材料**は、販売が前年同四半期並で推移しました。

**農業化学品**は、海外の販売が堅調に推移しました。

**(モビリティソリューション)**

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ794億円増の3,908億円、売上収益全体に占める割合は27%となりました。また、コア営業利益は、主に価格改定及び為替差により交易条件が改善したことにより、前年同四半期に比べ149億円増の389億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

**エラストマー**は、価格改定及び為替差により交易条件が改善しました。

**機能性コンパウンド**及び**PPコンパウンド**事業は、自動車生産台数の回復に伴い販売が増加しました。また、価格改定及び為替差により交易条件が改善しました。

**ソリューション**事業は、試作・開発案件の延期等が長期化し、販売は前年同四半期並で推移しました。

**(ICTソリューション)**

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ243億円増の1,796億円、売上収益全体に占める割合は13%となりました。一方、コア営業利益は、為替差等により交易条件が改善したものの、主に半導体需要鈍化の影響により、前年同四半期に比べ22億円減の230億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

**半導体・光学材料**は、販売が減少しましたが、為替差等により交易条件が改善しました。

**コーティング・機能材**は、販売が前年同四半期並で推移しました。

**産業用フィルム**は、主に半導体需要鈍化の影響により販売が減少しました。

**(ベーシック&グリーン・マテリアルズ)**

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ1,289億円増の6,605億円、売上収益全体に占める割合は46%となりました。一方、コア営業利益は、ビスフェノールA等の海外市況の下落及び足元のナフサ等原料価格の下落に伴う在庫評価益の縮小等により、前年同四半期に比べ377億円減の298億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

**ポリエチレン**及び**ポリプロピレン**の販売は、需要鈍化の影響を受けました。また、**ナフサクラッカー**の稼働率は、川下製品の需要鈍化の影響を受け、前年同四半期に比べ低下しました。

**(その他)**

当セグメントの売上収益は、前年同四半期に比べ33億円増の112億円、売上収益全体に占める割合は1%となりました。一方、コア営業損益は、前年同四半期に比べ22億円悪化の20億円の損失となりました。



## (2) 財政状態に関する説明

**(資産、負債、資本の状況)**

当四半期末の**資産合計**は、前期末に比べ1,507億円増の2兆857億円となりました。

当四半期末の**負債合計**は、前期末に比べ950億円増の1兆2,229億円となりました。また、**有利子負債**は959億円増の8,110億円となりました。この結果、資産合計に対する有利子負債の比率は前期末に比べ1.9ポイント増の38.9%となりました。

当四半期末の**資本合計**は、前期末に比べ557億円増の8,628億円となり、**親会社所有者帰属持分比率**は前期末に比べ0.1ポイント減の36.7%となりました。

以上により、当期末の**ネットD/Eレシオ**（**ネット有利子負債**（有利子負債－現預金・長期性預金）／**親会社の所有者に帰属する持分**）は、前期末に比べ0.05ポイント増の0.80となりました。

**(キャッシュ・フローの状況)**

当四半期の現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）は、前期末に比べ122億円増加し、当四半期末には1,934億円となりました。

**・営業活動によるキャッシュ・フロー**

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ102億円減の441億円となりました。これは主に、税引前四半期利益が減少したことなどによるものです。

**・投資活動によるキャッシュ・フロー**

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ367億円減の673億円となりました。これは主に、投資有価証券の有償減資による収入があったことなどによるものです。

**・財務活動によるキャッシュ・フロー**

財務活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ341億円減の290億円となりました。これは主に、有利子負債の借入額が減少したことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

## (業績の見通し)

業績予想の修正にあたり、為替レートは通期135円/\$ (1～3月 130円/\$)、国産ナフサ価格は通期77,000円/KL (1～3月 68,000円/KL) を前提としております。

当四半期の実績値を踏まえ、足元のナフサ等原料価格の下落に伴う在庫評価益の縮小や、半導体需要鈍化の影響によるICT関連の販売数量の減少等が見込まれることから、売上収益や各利益は、前回発表予想値より減少する見通しです。

(単位：億円)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A)	20,000	1,400	1,560	1,150	1,050	543.15
今回修正予想 (B)	19,100	1,300	1,470	1,040	950	492.96
増減額 (B-A)	△900	△100	△90	△110	△100	
増減率 (%)	△4.5	△7.1	△5.8	△9.6	△9.5	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	16,127	1,618	1,473	1,186	1,100	565.45

## (セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売上収益						合計
	ライフ&ヘルスケア・ソリューション	モビリティソリューション	ICTソリューション	ベーシック&グリーン・マテリアルズ	その他	全社費用等	
前回発表予想	2,600	5,500	2,400	9,370	130	—	20,000
今回修正予想	2,600	5,300	2,250	8,800	150	—	19,100
増減額	0	△200	△150	△570	20	—	△900

(単位：億円)

	コア営業利益						合計
	ライフ&ヘルスケア・ソリューション	モビリティソリューション	ICTソリューション	ベーシック&グリーン・マテリアルズ	その他	全社費用等	
前回発表予想	305	480	315	370	△30	△40	1,400
今回修正予想	305	510	270	275	△20	△40	1,300
増減額	0	30	△45	△95	10	0	△100

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	181,152	193,408
営業債権	370,426	379,530
棚卸資産	369,009	455,309
その他の金融資産	43,496	41,265
その他の流動資産	27,258	35,365
小計	991,341	1,104,877
売却目的で保有する資産	42,104	27,422
流動資産合計	1,033,445	1,132,299
非流動資産		
有形固定資産	513,950	545,979
使用権資産	39,634	47,504
のれん	17,981	19,636
無形資産	45,341	46,683
投資不動産	21,546	21,546
持分法で会計処理されている投資	133,157	149,230
その他の金融資産	55,757	55,622
退職給付に係る資産	60,750	53,225
繰延税金資産	8,579	9,267
その他の非流動資産	4,825	4,715
非流動資産合計	901,520	953,407
資産合計	1,934,965	2,085,706

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	174,844	186,395
社債及び借入金	346,615	400,938
未払法人所得税	12,903	7,933
その他の金融負債	127,608	109,589
引当金	2,474	2,704
その他の流動負債	42,125	33,966
小計	706,569	741,525
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	—	13,308
流動負債合計	706,569	754,833
非流動負債		
社債及び借入金	319,471	353,735
その他の金融負債	49,297	58,366
退職給付に係る負債	18,857	22,214
引当金	5,051	2,941
繰延税金負債	28,133	30,204
その他の非流動負債	465	623
非流動負債合計	421,274	468,083
負債合計	1,127,843	1,222,916
資本		
資本金	125,414	125,572
資本剰余金	69,866	57,778
自己株式	△34,932	△27,679
利益剰余金	516,098	549,631
その他の資本の構成要素	36,208	60,409
親会社の所有者に帰属する持分合計	712,654	765,711
非支配持分	94,468	97,079
資本合計	807,122	862,790
負債及び資本合計	1,934,965	2,085,706

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上収益	1,165,079	1,428,911
売上原価	△881,611	△1,125,066
売上総利益	283,468	303,845
販売費及び一般管理費	△169,171	△209,232
その他の営業収益	13,626	3,844
その他の営業費用	△11,283	△9,886
持分法による投資利益	21,984	18,447
営業利益	138,624	107,018
金融収益	2,855	3,171
金融費用	△9,302	△10,002
税引前四半期利益	132,177	100,187
法人所得税費用	△22,062	△28,550
四半期利益	110,115	71,637
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	102,665	64,946
非支配持分	7,450	6,691
四半期利益	110,115	71,637
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	526.64	336.43

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期利益	110,115	71,637
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	462	814
確定給付制度の再測定	4,331	△7,000
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△11	△88
純損益に振り替えられることのない項目合計	4,782	△6,274
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	7,524	19,843
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	303	614
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	2,434	5,340
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	10,261	25,797
税引後その他の包括利益合計	15,043	19,523
四半期包括利益	125,158	91,160
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	116,646	81,895
非支配持分	8,512	9,265
四半期包括利益	125,158	91,160

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定
2021年4月1日残高	125,331	74,009	△24,900	424,084	11,606	—
四半期利益	—	—	—	102,665	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	418	4,312
四半期包括利益合計	—	—	—	102,665	418	4,312
自己株式の取得	—	—	△10,029	—	—	—
自己株式の処分	—	0	3	—	—	—
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△20,527	—	—
株式報酬取引	83	83	—	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	△493	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	4,255	57	△4,312
所有者との取引額等合計	83	△410	△10,026	△16,272	57	△4,312
2021年12月31日残高	125,414	73,599	△34,926	510,477	12,081	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の所有者に帰属する持分合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の純変動の有効部分	合計			
2021年4月1日残高	△1,497	△712	9,397	607,921	74,236	682,157
四半期利益	—	—	—	102,665	7,450	110,115
その他の包括利益	8,955	296	13,981	13,981	1,062	15,043
四半期包括利益合計	8,955	296	13,981	116,646	8,512	125,158
自己株式の取得	—	—	—	△10,029	—	△10,029
自己株式の処分	—	—	—	3	—	3
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△20,527	△5,390	△25,917
株式報酬取引	—	—	—	166	—	166
連結範囲の変動	—	—	—	—	19,873	19,873
非支配持分との取引	—	—	—	△493	△1,464	△1,957
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△4,255	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△4,255	△30,880	13,019	△17,861
2021年12月31日残高	7,458	△416	19,123	693,687	95,767	789,454

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
					その他の包 括利益を通 じて公正価 値で測定す る金融資産	確定給付制 度の再測定
2022年4月1日残高	125,414	69,866	△34,932	516,098	14,558	—
四半期利益	—	—	—	64,946	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	836	△7,094
四半期包括利益合計	—	—	—	64,946	836	△7,094
自己株式の取得	—	—	△4,997	—	—	—
自己株式の処分	—	△0	4	—	—	—
自己株式の消却	—	△12,246	12,246	—	—	—
配当金	—	—	—	△24,161	—	—
株式報酬取引	158	158	—	—	—	—
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰 余金への振替	—	—	—	△7,252	158	7,094
所有者との取引額等合計	158	△12,088	7,253	△31,413	158	7,094
2022年12月31日残高	125,572	57,778	△27,679	549,631	15,552	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の所 有者に帰属 する持分合 計	非支配持分	資本合計
在外営業活 動体の換算 差額	キャッシ ユ・フロ ー・ヘッジ の公正価値 の純変動の 有効部分	合計				
2022年4月1日残高	21,911	△261	36,208	712,654	94,468	807,122
四半期利益	—	—	—	64,946	6,691	71,637
その他の包括利益	22,565	642	16,949	16,949	2,574	19,523
四半期包括利益合計	22,565	642	16,949	81,895	9,265	91,160
自己株式の取得	—	—	—	△4,997	—	△4,997
自己株式の処分	—	—	—	4	—	4
自己株式の消却	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△24,161	△6,659	△30,820
株式報酬取引	—	—	—	316	—	316
連結範囲の変動	—	—	—	—	5	5
非支配持分との取引	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰 余金への振替	—	—	7,252	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	7,252	△28,838	△6,654	△35,492
2022年12月31日残高	44,476	381	60,409	765,711	97,079	862,790



## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	132,177	100,187
減価償却費及び償却費	61,407	68,800
減損損失	251	3,953
負ののれん発生益	△8,922	—
受取利息及び受取配当金	△1,486	△2,508
支払利息	2,948	4,135
持分法による投資損益(△は益)	△21,984	△18,447
営業債権の増減額(△は増加)	△53,476	△6,962
棚卸資産の増減額(△は増加)	△70,600	△82,634
営業債務の増減額(△は減少)	49,815	12,003
未収入金の増減額(△は増加)	△21,001	5,744
未払費用の増減額(△は減少)	△3,212	△6,230
その他	1,017	△6,562
小計	66,934	71,479
利息及び配当金の受取額	6,276	9,219
保険金の受取額	1,124	2,021
利息の支払額	△3,019	△4,157
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△16,978	△34,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	54,337	44,084
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△2,400
有価証券の売却及び償還による収入	—	2,539
有形固定資産の取得による支出	△76,819	△97,365
有形固定資産の売却による収入	1,543	420
無形資産の取得による支出	△8,244	△2,762
無形資産の売却による収入	1	8
投資有価証券の取得による支出	△762	△1,758
投資有価証券の売却及び償還による収入	49	334
投資有価証券の有償減資による収入	—	37,320
子会社の取得による支出	△1,001	△3,706
子会社の取得による収入	12,431	—
子会社の売却による支出	△1,749	△74
子会社の売却による収入	5,547	—
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△36,449	△10
その他	1,431	148
投資活動によるキャッシュ・フロー	△104,022	△67,306

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	7,207	32,508
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	65,000	30,000
長期借入れによる収入	27,773	58,735
長期借入金の返済による支出	△17,544	△35,936
社債の発行による収入	35,000	—
社債の償還による支出	△10,290	△142
リース負債の返済による支出	△7,289	△7,210
自己株式の売却による収入	3	4
自己株式の取得による支出	△10,029	△4,997
配当金の支払額	△20,527	△24,161
非支配持分からの払込による収入	1	5
非支配持分への配当金の支払額	△4,237	△6,010
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△1,957	△13,777
財務活動によるキャッシュ・フロー	63,111	29,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,402	6,459
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,828	12,256
現金及び現金同等物の期首残高	195,987	181,152
現金及び現金同等物の四半期末残高	211,815	193,408

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

## (継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

## ①報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	連結
	ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	モビリティ ソリューション	ICT ソリューション	ベーシック& グリーン・ マテリアルズ	計			
売上収益								
外部顧客への 売上収益	158,922	311,415	155,307	531,575	1,157,219	7,860	—	1,165,079
セグメント間の 内部売上収益	2,146	2,682	3,838	74,591	83,257	46,244	△129,501	—
計	161,068	314,097	159,145	606,166	1,240,476	54,104	△129,501	1,165,079
セグメント利益 (コア営業利益)	18,280	24,027	25,219	67,510	135,036	127	△903	134,260

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△903百万円には、各報告セグメントには配分していない全社損益△566百万円及び、セグメント間消去取引△337百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費、報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差額等であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	連結
	ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	モビリティ ソリューション	ICT ソリューション	ベーシック& グリーン・ マテリアルズ	計			
売上収益								
外部顧客への 売上収益	186,808	390,827	179,607	660,496	1,417,738	11,173	—	1,428,911
セグメント間の 内部売上収益	2,657	2,237	4,913	102,658	112,465	63,799	△176,264	—
計	189,465	393,064	184,520	763,154	1,530,203	74,972	△176,264	1,428,911
セグメント利益 又はセグメント 損失(△) (コア営業利益)	21,590	38,923	22,988	29,801	113,302	△2,026	△927	110,349

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

2. セグメント損益の調整額△927百万円には、各報告セグメントには配分していない全社損益△1,032百万円及び、セグメント間消去取引105百万円が含まれております。全社損益は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費、報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差額等であります。

セグメント利益から、税引前四半期利益への調整は、以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
セグメント利益	134,260	110,349
負ののれん発生益	8,922	—
減損損失	△251	△3,953
固定資産処分損	△719	△1,657
関連事業損失	△5,265	—
その他	1,677	2,279
営業利益	138,624	107,018
金融収益	2,855	3,171
金融費用	△9,302	△10,002
税引前四半期利益	132,177	100,187

※前期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前年同四半期の要約四半期連結財務諸表については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の金額に遡及修正しております。

## ②報告セグメント区分の変更

当社は、2021年を起点とした2030年までの長期経営計画「VISION2030」の実現に向け、事業ポートフォリオの改定を行っております。これに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを見直し、従来の「モビリティ」、「ヘルスケア」、「フード&パッケージング」、「基盤素材」の4区分から、「ライフ&ヘルスケア・ソリューション」、「モビリティソリューション」、「ICTソリューション」、「ベーシック&グリーン・マテリアルズ」の4区分に変更いたしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましても、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

セグメントごとに製造・販売をしている主要製品は、下記のとおりであります。

セグメント	主要製品	
報告セグメント	ライフ&ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア材料、不織布、オーラルケア材料、パーソナルケア材料、農業化学品
	モビリティソリューション	エラストマー、機能性コンパウンド、ポリプロピレン・コンパウンド、自動車等工業製品の製品開発支援業務（ソリューション事業）
	ICTソリューション	半導体・電子部品工程部材、光学材料、リチウムイオン電池材料・次世代電池材料、高機能食品包装材料
	ベーシック&グリーン・マテリアルズ	エチレン、プロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレン、触媒、フェノール類、高純度テレフタル酸、ペット樹脂、ポリウレタン材料、工業薬品
その他	その他	その他関連事業等

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。